

一般質問



災害からの復旧・復興 と防災力の強化の取組

問 排水対策基本計画の浸水削減効果目標やエリアごとの対策案はどの段階で示すのか。

答 事業実施期間を短期・中

期・長期に区分し数値で示していく。エリアの対策は今後、議会の意見等も聞きながら取りまとめ、11月に審議の予定。

問 災害には市民自らの防衛も必要と思うが、対策費の補助制度等がつかれないか。

答 市民と一緒に防災・減災を行うことが重要であり、具体的な内容は、今後検討する。

コロナ禍などによる 子どもたちへの影響

問 子どもからのSOSをいち早くキャッチするため、ス

クールカウンセラーのさらなる配置を県へ要望するとともに本市独自の配置も必要と思うが、市長の考えは。

答 県からの派遣は私からも要望し、教育委員会と連携し、しっかり取り組んでいく。

問 虫歯になりにくい丈夫な歯にするためには、フッ化物洗口が有効と考えるがどうか。

答 児童生徒の歯と口の健康意識を高めることは重要であるため、情報発信等に努める。

再発言 周知方法や学校での導入について検討されたい。



児童・生徒の不登校問題に 対する考え方とその対策

問 小・中学校の児童・生徒の不登校数は年々増加し、特に中学校では230名（出現率9.6％）に達していることを教

育委員会としてどの様に捉えているのか。

答 最重要課題であると認識している。

問 中学校の不登校の増加は何が原因で右肩上がりの状態にあるのか、見解と対策は。

答 全国的に小学6年生から中学1年生にかけて不登校数が増加しており、その原因として、新しい中学校での生活に順応できないことが挙げられる。対策としては、宮原中学校区に小中一貫教育制度の導入、校区常駐のスクールソ

ーシャルワーカーの配置、小・中学校及び関係機関との連携等を深めたことで、宮原中では減少している。

問 早寝早起き朝ごはんの取組状況は。

答 文部省作成の教材「早寝早起き朝ごはんで輝く君の未来」による指導及び啓発リーフレットを配布し、生徒への指導を行い、生徒を通して保護者へ向けた協力依頼を進めている。また、今年度は、PTA連合会において重点的な取組と位置づけられている。



インボイス制度は中止を

問 現在、消費税のインボイス制度における適格請求書発行事業者の登録申請期間。特に消費税の免税事業者にとっ

ては死活問題。登録して課税事業者となるか、登録せず取引から排除されるリスクを負うかの厳しい選択が強いられる。地域経済の活性化を後退させるインボイス制度の中止を、国に対し市として求めるべきでは。

答 全国市長会において、個人事業主等の安定的な運営が可能となるように、適切な措置を講じるよう国に対して提言がなされている。

問 本市の会計に与える影響は。

答 一般会計については影響はないが、企業局における企業会計については、課税事業者となっており影響がある。他都市の動向などを十分注視をしながら、引き続き、取引業者との対応について検討していきたい。

再発言 非常に悩ましい選択をしなければならない立場。

誰の得にもならない制度であり、国に対して「適切な措置を講じる」ではなく「中止」をするよう求めてほしい。